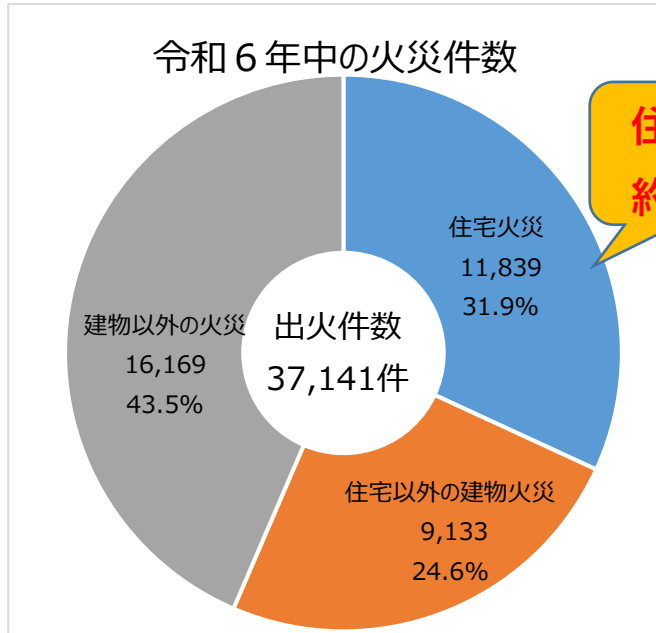


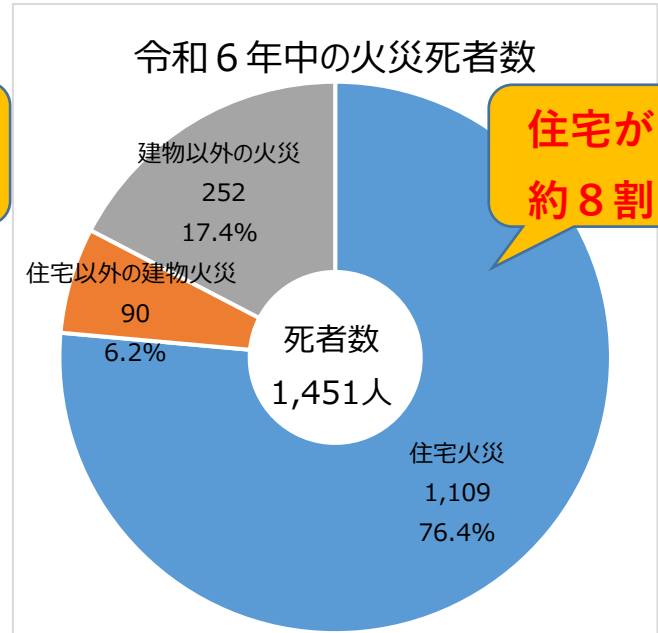
住宅用火災警報器は正しく設置し、点検しましょう

火災の死者の約 8 割は住宅火災で発生

住宅火災の件数は総出火件数の約3割ですが、住宅火災による死者数は総死者数の約 8 割を占めています。(全国)



住宅が
約 3 割



住宅が
約 8 割

※ 放火を含む全ての火災

※ 放火自殺等を含む全ての死者

住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置場所（どこに設置するの？）

住宅用火災警報器を設置する場所は寝室で、2階に寝室がある場合は階段室にも設置が必要となります。

設置場所の詳細（部屋のどこに設置するの？）

天井または壁に設置します。詳しい取り付け場所は、取扱説明書を確認するか、消防までお問い合わせください。

住宅用火災警報器の種類

煙を感知して発報する煙感知式と、熱を感知して発報する熱感知式があります。

各寝室や階段に設置する住宅用火災警報器は、煙感知式のものを使用してください。



大切ないのち・財産を守るためにも
まだ設置していない方は
住宅用火災警報器を設置しましょう。



住宅用火災警報器

(形状はメーカーにより異なります。)